

地域の話し合いを通じた担い手への農地集積及び
オリーブの生産拡大による荒廃農地の解消

ぶんごたかし
〔大分県豊後高田市〕

新規就農	企業参入	6次産業化	農地中間管理機構
農福連携	鳥獣害対策	地域・集落の共同活動	その他

1. 地域農業の状況

- 豊後高田市は大分県の北東部、国東半島の西側に位置し、北は周防灘に面し温暖で過ごしやすい瀬戸内式気候の地域である。
- 香々地地区は、豊後高田市の北部の山あいに位置する農業地域であり、果樹(オリーブ、柑橘)を主体に肉用牛の繁殖経営が行われている。
- 本地区では、昭和30～40年代に急斜面の山肌で開拓パイロット事業が実施され、整備された農地では主にみかんの栽培が行われてきたが、高齢化の進行や後継者不足から、耕作放棄された農地が増加してきており、オリーブ栽培への転換や増加した荒廃農地での放牧を実施する等の対策を行いつつ、中山間地域等直接支払制度を活用しながら、農地保全・管理を行ってきた。
- このような中、地区の農業者（新規就農者2名を含む）から、
 - ① 荒廃農地が鳥獣の根城となり、被害が多発している
 - ② オリーブの6次産業化により取組む、ふるさと納税の返礼品や県外飲食業との取引について拡大したいとの声があり、国の農山漁村振興交付金（最適土地利用対策）を活用し、荒廃農地解消の取組を行うこととしたもの。



2. 地区概要

取組主体	豊後高田市	地区名	香々地（かかち）地区
再生面積	0.34ha（5年間で2.14ha予定）	取組年次	令和3年度～
作付作物	オリーブ	販路	県外飲食業との取引等

3. 取組内容及び効果

農山漁村振興交付金(最適土地利用対策)を活用して、荒廃農地を再生

- 農地について地域ぐるみの話し合いを実施し、最適土地利用計画を策定。
- 樹園地の伐採・整地を行い、今後5年間で2.14haの荒廃農地を再生（令和3年度：33.88aの再生）し、農地中間管理機構を活用して認定農業者へ農地の集積を行う。
- 生産・加工・販売まで一貫したオリーブ産業の拡大により、地域の特産品とすることで農業の所得向上、地域の雇用拡大が期待されるとともに、今後、オリーブ生産、柑橘生産、肉用牛繁殖経営を行う各農家が一体となって地域の農地を管理し、都市住民との交流企画等を実施していきたいとしている。
- オリーブの新植に果樹農業生産力増強支援対策を活用。



事業実施前



整備後

活用した支援策	R3 農山漁村振興交付金（最適土地利用対策）（国） 果樹農業生産力増強支援対策（国）
---------	---



話し合いの様子



オリーブ